

【今週の注目疾患】

麻疹

千葉県では、2016年29週1例、30週1例、31週1例、32週1例、33週4例の届出があった(平成28年8月17日現在)(図、表)。千葉県での発生は2014年24週以降なかったこと、松戸保健所管内から複数の届出があることから2016年1～33週に届出のあった8例についてまとめた。

図 2016年千葉県の麻疹週別・ワクチン接種歴別届出数 8例

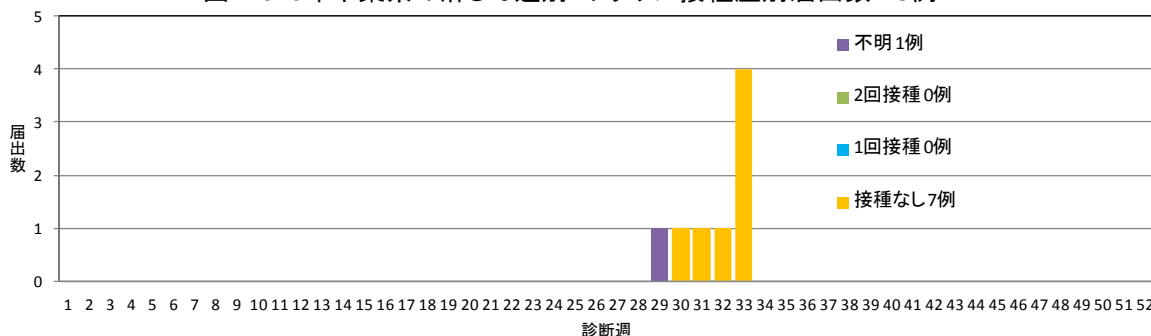


表 2016年千葉県の麻疹患者

保健所	性別	年齢	月齢	病型	診断日	診断週	接種歴		遺伝子型
							1回目 (年齢)	2回目 (年齢)	
松戸	女	33		修飾麻疹(検査診断例)	7月22日	29週	不明	不明	D8
松戸	男	0	10	麻疹(検査診断例)	7月26日	30週	無	無	D8
松戸	男	4		麻疹(検査診断例)	8月4日	31週	無	無	D8
松戸	男	1	8	麻疹(検査診断例)	8月9日	32週	無	無	D8
松戸	男	1	1	麻疹(検査診断例)	8月15日	33週	無	無	
松戸	男	6	0	麻疹(検査診断例)	8月15日	33週	無	無	
松戸	男	0	6	麻疹(検査診断例)	8月15日	33週	無	無	
松戸	男	0	6	麻疹(検査診断例)	8月15日	33週	無	無	

類型は全例患者であった。

性別は、男性7例(87.5%)、女性1例(12.5%)であった(表)。

年齢群別では、0歳3例(37.5%)、1～4歳3例(37.5%)、5～9歳1例(12.5%)、30代1例(12.5%)であった(表)。

保健所別では、全例松戸保健所であった(表)。

病型別では、麻疹(検査診断例)7例(87.5%)、修飾麻疹(検査診断例)1例(12.5%)であった(表)。

症状等として報告されたのは、発熱8例(100.0%)、咳8例(100.0%)、コプリック斑6例(75.0%)、発疹5例(62.5%)、鼻汁5例(62.5%)、結膜充血2例(25.0%)、眼脂1例(12.5%)であった(複数報告あり)。

診断方法として報告されたのは、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出8例(100.0%)、血清IgM抗体の検出1例(12.5%)であった(複数報告あり)。

麻疹含有ワクチン接種歴は、無し7例(87.5%)、不明1例(12.5%)であった(表)。

参考

1) 麻疹(はしか)の発生について(平成28年8月16日発表)

千葉県健康福祉部疾病対策課

URL : <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2016/mashin20160816.html>